



DDユニット事業推進室だより

ダイバーシティ・ダイヤモンド(DD)ユニット
事業推進室

3機関連携女性研究者支援事業



国立大学法人
東京医科歯科大学



順天堂大学

nippi 株式会社 ニッピ

3号

平成30年3月

シンポジウム「男女が共に働きやすい・働きがいのある職場とは～ダイバーシティ環境を目指して～」の開催

平成29年12月12日、第3回シンポジウム「男女が共に働きやすい・働きがいのある職場とは～ダイバーシティ環境を目指して～」を3連携機関主催で開催しました。

吉澤靖之(東京医科歯科大学)、新井一(順天堂大学)両学長による開会



挨拶で始まり、来賓の伊藤賢氏(文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室長)より、女性研究者の割合推移、大学における女性教員の採用割合、自然科学系分野別の女性教員の採用割合、女性研究者の割合の国際比較など、グラフを用いて日本全体の女性研究者の現状をご紹介いただきました。また、女性研究者の活躍推進に向けた文部科学省の取り組みをご説明いただきとともに、3連携機関への評価と期待のお言葉をいただきました。

基調講演は、伊東昌子氏(長崎大学副学長、ダイバーシティ推進センター長)より『医療界におけるダイバーシティの推進』と題し、学内における仕事と介護の両立支援や、研究時間創出のための働き方見直しプログラム



など、長崎大学における女性研究者のための研究環境整備に関する様々な取り組みをご紹介いただきました。また、長崎大学病院メディカル・ワークライフバランスセンターの取り組みには『あじさいプロジェクト』があり、キャリアサポートとして「復職&リフレッシュトレーニング」、仕事と育児・介護の両立サポートとして「長崎県医師会保育サポートシステム」や、「イブニングシッターサービス」、「マタニティ白衣貸出」など、多彩なサポートについてお話しいただきました。

次に、宮崎泰成氏(東京医科歯科大学 学生支援・保健管理機構長)より、本事業の3年間で中間報告として総括を行いました。

パネルディスカッションでは、行木陽子氏(日本アイ・ピー・エム株式会社 技術理事)を迎え、『柔軟な働き方とイノベーション』と題して、日本アイ・ピー・エム株式会社の特徴的なスペシャリスト(技術者)育成プログラムや、現職に至る経緯をお話いただき、また、“ダイバーシティ&インクルージョン”という考え方が大きなイノベーションをもたらす事例や、企業が力を入れている“デザイン思考”についてご紹介いただきました。



続いて、パネリストの方々、組織における働き方改革を行う必要性、部下の方々が働きがいを感じられるようにする工夫、講演の感想など、ディスカッションしていただきました。「性差については、男女ともに意識を変えること。特に上位職(管理職)の方が意識を変える、つまり、家父長的固定観念、性別役割分担、統計的差別といった固定観念や無意識の偏見をなくすことが必要。ワーク・ライフ・バランスについては、一人ひとりが働き方を見直し、長時間労働が慢性化していないかなどに気づき、仕事のやり方を工夫してみる。管理職の方は、組織全体としての働き方を見直すこと。それにより、どのような成果が出たかを見て、評価に繋げること。そして何より、それぞれの立場でやりがいを持ち、楽しく仕事することが大切」というコメントを各氏よりいただきました。

最後に、服部俊治氏(株式会社ニッピ バイオマトリック研究所 所長)の挨拶により閉会しました。



※本シンポジウムの詳細は『第三回シンポジウム 男女が共に働きやすい・働きがいのある職場とは～ダイバーシティ環境を目指して～報告集』に掲載しています。

研究力強化の支援

研究主宰者としてのスキルを有するPI(Principal Investigator)を育成することを目的に、女性研究者が研究代表者となる共同研究を支援しています。

平成29年度は、下記の通り3機関合わせて全11名の女性研究者が実施する共同研究を採択しました。10月には中間成果報告書の提出を受け、研究の進捗状況の把握及び中間評価を行いました。

平成29年度採択者	所属機関	職位	研究テーマ
貫井 陽子	東京医科歯科大学	准教授	新生児集中治療領域で分離される市中感染型MRSAの解析
松原 直子 [※]	東京医科歯科大学	助教	Bリンパ球抑制性受容体CD22を標的にした多発性硬化症制御法の開発
船戸 紀子	東京医科歯科大学	准教授	先天性疾患に関わるTbx1転写因子とコラーゲン分子群の相関に対する網羅的解析と創傷治癒改善効果への可能性
田中絵里子	東京医科歯科大学	助教	ポドサイト傷害時の細胞運命決定メカニズムの解析による腎糸球体硬化の病態解明
千葉 麻子	順天堂大学	准教授	MAIT細胞を標的とした炎症性腸疾患の新規治療法開発
齋藤 アンネ優子	順天堂大学	准教授	放射線療法により、疼痛部の痛みが消失した多発骨移転に対する予防的放射線療法は必要か？
田中 奈々	順天堂大学	助教	細胞外マトリックスを用いた、ヒルシュスブルグ病に対する内科的治療法への挑戦
杉原 匡美	順天堂大学	助教	家族性拡張型心筋症における病態進行の予防的治療法の確立
桑葉くみ子	株式会社ニッピ	課長	コラーゲンペプチドの経口摂取が健康状態に及ぼす効果について
加来 祐子	株式会社ニッピ	課長	動物細胞による組換え蛋白質の生産性増強に関する研究
藤崎ひとみ	株式会社ニッピ	課長	コラーゲン会合体が、株化ガン細胞の幹細胞性(stemness)に与える影響を薬剤排出能で評価する研究

※平成29年5月退職のため支援辞退



共同研究支援研究成果発表会

日時 平成30年3月2日(金) 13:00~16:00

場所 東京医科歯科大学

平成29年度の研究成果を発表するため、各共同研究の研究代表者によるプレゼンテーションが行われ、評価の高かった採択者には共同研究推進賞が贈られました。本年度は平成27年度から3年にわたる支援の研究成果発表として、採択者全員が参加し、支援の最終年度にふさわしい会となりました。

リーダーシップ向上支援

リーダーシップ向上セミナー開催

将来グローバルに活躍できる女性リーダーを育成するための連続講座「リーダーシップ向上セミナー」を開催し、平成29年度は全5回の講座合わせて延べ138名の方々にご参加いただきました。

第1回

「自由な職場の雰囲気がイノベーションをもたらす！…と信じたい」

講師：服部 俊治氏

(株式会社ニッピ バイオマトリックス研究所 所長)

日時：平成29年9月12日(火) 12:00~13:00

会場：東京医科歯科大学 M&Dタワー11階 大学院講義室3



内容：●大学と企業の研究って違うのか？●BSE検査キット開発の秘話(チームワーク)●iMatrixの開発(大学との共同)●プロジェクトリーダーになって得るものと失うもの

参加者の声：●“自由”は人々の発想を柔らかくし、それらが交流することでシナジーを生み出す。そこからイノベーションが生まれるのだろう。

第2回 「看護職による“女性の知恵”を活かした リーダーシップ・マネジメントについて」

講師：幅下 貞美氏
(順天堂大学 医学部附属
順天堂医院 看護部部长)



講師：川崎 つま子氏
(東京医科歯科大学 医学部附属病院
副院长兼看護部长)



日時：平成29年10月31日(火) 12:00~13:00
会場：順天堂大学 センチュリータワー北4階教室

内容：●看護職におけるリーダーシップ・マネジメントについて●看護職における男女共同参画について●多職種との協働におけるリーダーシップ・マネジメントについて

参加者の声：●看護職の捉える本質が大切であるということを知られた。●女性の多い職場でトップになった方と、男性の多い職場でトップになった方の考え方の違いを感じた。●柔軟かつ多角的に捉えることの重要性を再認識した。●女性の特性を積極的に活かすというあり方や性差を利用して場の円滑化を図ることなどが参考になった。●女性ならではの気づきや配慮で周りを活かしつつ、調和を保つことの大切さを考えさせられた。

第3回 「変化の時代、 まず自分が変わる！」

講師：石倉 洋子氏
(一橋大学 名誉教授
株式会社資生堂 社外取締役)

日時：平成29年11月28日(火)
12:00~13:00

会場：東京医科歯科大学
M&Dタワー11階 大学院講義室3



内容：●視点をを変える
●ゼロから始める ●過去より未来を

参加者の声：●新しい分野を開拓して自身のキャリアを育てていくことが、今後の人生に

大きな変化をもたらす、ということに気づかされた。●自分は何をやりたいか、人生を通して何をやり遂げたいかを考えるきっかけとなった。●やりながら考えて軌道修正するという言葉が胸に残った。●少しずつでも毎日違った経験をするようにしたいと思った。●自分で自分の人生のストーリーを、変化に合わせて進めたいという気持ちになった。

第4回 「医歯学・生物系研究分野における 202030の現実を考える」

講師：金井 正美氏
(東京医科歯科大学 実験動物センター
疾患モデル動物解析学分野 教授)

日時：平成29年12月4日(月) 12:00~13:00

会場：東京医科歯科大学 M&Dタワー11階 大学院講義室3



内容：●202030って何？●医歯学、生物系分野におけるポストク・テニュー・PIの過去と現状

参加者の声：●自分のためだけでなく、後に続く人たちのために道を拓くという視点が参考になった。●データ解析の結果が非常におもしろかった。30%という平均値を活か

すためには、土台が平均的でなくてはならず、凹凸のある環境では人数といった実際の値や、ばらつきを減少などを求めていかななくてはならないと思った。●ポストク・テニュー・PIのキャリアを考えるきっかけとなった。●元気づけられた。分野・立場は異なっても、それぞれの役割の中で工夫できることを学んだ。

第5回 「困難な状況に対応するための 精神的回復力」

講師：枝川 義邦氏
(早稲田大学 研究戦略センター 教授)

日時：平成29年12月21日(木) 12:00~13:00

会場：東京医科歯科大学 M&Dタワー13階
大学院講義室2



内容：●困難な状況とジレンマ
●精神的回復力(レジリエンス)の考え方 ●レジリエンスを支える心の仕組み：自己効力感について ●自己効力感の高め方

参加者の声：●落ち込んだ時の言語化が有効なことに気づいた。

●日常的に言語化して直視しなかったことであり、非常に参考になった。●主観的に見ることも大事。セルフ・エフィカシーの4つの柱を念頭に置くと対処できると実感した。●客観的に自分の精神面でのタイプもわかり、自分自身の対処の仕方も少しわかり、よかった。

育児・介護と研究との両立支援

ファミリーサポート事業

連携機関に在籍している女性研究者(依頼会員)が育児と研究とを両立できる環境を整備するため、子育てを支援したい地域の方々(提供会員)の協力を得て、独自のファミリーサポートシステムを構築し、運用しています。平成29年度は新たな提供会員養成のための講習会として「保育サービス講習会」を2回(7月、1~2月)、既に提供会員となった方のためのスキルアップ講習会を2回(9月、3月)、会員同士の交流の場として「全体交流会」(11月)を実施しました。活動報告を兼ねての広報として、ファミサポ通信を5号まで発行しました。また、平成29年4月からは男性研究者も利用対象に含めました。

会員総数(人)	122
提供会員	79
依頼会員	43
(内訳)東京医科歯科大学	34
順天堂大学	7
株式会社 ニッピ	2

平成30年1月31日現在

DDユニットファミリーサポート全体交流会「リコーダーとギターのアンサンブル」開催

2017年11月25日、会員同士の交流を目的として、DDユニットファミリーサポート提供会員・依頼会員・その子どもを対象とした、全体交流会を開催しました。

提供会員14名、依頼会員4名、子ども8名、活動に興味のある地域の方2名、ピッコロ職員1名、東京医科歯科大学職員2名、計31名の参加がありました。

冒頭に参加者全員の自己紹介がなされ、お互いを知る貴重な機会となりました。次に、全国で活躍されているリコーダー奏者の松浦孝成氏、有田まり子氏、ギター奏者の畑内浩氏によるアニメからバロックに至る幅広いジャンルの曲が演奏され、続いて、リコーダーの歴史をご紹介いただきました。目の前で奏でられる豊かな音色と松浦氏の楽しい話に大人から子どもまで魅了され、会は大好評のうちに終わりました。



研究支援員配備事業

出産・育児、介護等のために十分な研究時間を確保できない研究者に対し、研究支援員を配備しています。平成29年度は、16名の女性研究者(東京医科歯科大学:2名、順天堂

大学:13名、株式会社ニッピ:1名)に研究支援員を配備しました。支援を受けた女性研究者には報告書を提出してもらい、その効果や研究の進捗状況の把握等を行っています。

研究支援員バンク

研究支援員配備事業に採択された研究者と、当該研究者が求めるスキルを持った研究支援員とのマッチングをスムーズに行うため、研究支援員としての勤務を希望する方に予め登録をしていただく「研究支援員バンク」を運用しています。

今年度のマッチングは4件(東京医科歯科大学0件、順天堂大学4件)が成立し、研究支援を行いました(平成30年3月1日時点)。

- バンクへの登録を希望される方は、
- **DDユニットWebサイト**
- (<http://www.tmd.ac.jp/cmn/ddu/>)
- にて詳細をご確認ください。

研究支援員配備制度利用者 「研究支援員配備制度の在り方に関する検討会」意見交換会

日時 平成29年7月7日(金) 15:30~16:30

場所 順天堂大学 センチュリータワー北306教室

参加者 順天堂大学・東京医科歯科大学・株式会社ニッピの研究支援員配備制度事業関係者・研究支援員配備制度利用者

- 議題**
- 各機関における研究支援員の配備方針について
 - 本制度の在り方について
 - 短時間での支援について
 - 短時間支援と長時間支援の併用について

研究支援員配備制度事業について、本事業の各機関担当教員及び関係者、また、本制度利用者による本制度の在り方に関する意見交換会を開催しました。研究支援員配備制度の各機関における多様な観点から、配備方針の情報共有や、制度の現状と今後の課題などについて議論を深めることができました。



産学連携の支援

女性研究者が有する研究シーズをステップアップさせ、実用化への橋渡しを促進するため、共同研究の支援を行っています。

平成29年度は、下記の通り全4名の女性研究者が実

施する共同研究を支援しました。このうち、東京医科歯科大学の2件の共同研究は、昨年始動した株式会社ニッピが提供する研究ニーズに係る共同研究支援でした。また、本取り組みの成果として、4件の特許出願がなされました。

平成29年度採択者	所属機関	職位	研究テーマ
横井多恵	東京医科歯科大学	助教	3D-MRIによる新規画像補正技術を用いた、眼球形態変化に起因する眼内部構造変化の病態解析
船戸紀子	東京医科歯科大学	准教授	骨形成促進コラーゲンペプチドの探索およびその作用機序解析研究(株式会社ニッピが提供する研究ニーズ)
大石由美子	東京医科歯科大学	テニュアトラック准教授	筋衛生細胞の新規培養法の開発とキンジストロフィー症治療への応用(コラーゲン、ゼラチンの再生医療への応用研究)(株式会社ニッピが提供する研究ニーズ)
Beate Heissig	順天堂大学	客員准教授	発がんを含めた炎症性疾患病態におけるプロテアーゼ群の機能解析

産学連携 共同研究支援研究成果発表会

日時 平成30年3月2日(金) 13:00~16:00

場所 東京医科歯科大学

平成29年度の共同研究の成果を発表するため、各共同研究の研究代表者によるプレゼンテーションが行われ、優れた評価を得た研究者には最優秀賞、産学連携推進賞が贈られました。



産学連携研究セミナー開催

「企業から見た産学連携研究 ～アカデミアへの期待～」

昨年度セミナーの参加者から多くの希望があった「企業から見た産学連携研究」をテーマに、セミナーを開催しました。

講師：山内 智孝氏

(株式会社東急不動産R&Dセンター 取締役・副センター長)

日時：平成29年6月20日(火) 12:00~13:00

会場：順天堂大学 センチュリータワー北4階教室



内容：●企業から見た産学連携研究について●企業が産学連携研究を行う動機●企業が産学連携研究に求めていること●企業が産学連携研究を行うメリット●産学連携研究における企業からアカデミアへの期待

参加者の声：●企業がどのような社会背景の中で、産学連携を進めているのか、大学にどのようなことを期待しているのか知ることができた。●産学連携研究で自分が果たすべきことは何なのか、ぼんやりしていた部分が少し明確になった。●不動産と医療の接点を再確認できた。

「株式会社ニッピ 見学・体験ツアー」

大学における研究と企業における研究の進め方を相互に学ぶ機会として、株式会社ニッピ 見学・体験ツアーを実施しました。

日時：平成29年10月19日(木)

平成29年10月19日(木)開催! ~高生医療分野におけるコラーゲンの応用開発を行う企業での実験・製造体験~

株式会社ニッピ 見学・体験ツアー

株式会社ニッピは医療製品製造からスタートして本年110周年を迎えた会社です。研究では最先端技術であるコラーゲン分子が研究から生まれた食品・化粧品・健康食品等製品の製造販売を行っています。また食品・化粧品・健康食品等から得られるコラーゲン抽出物の抽出・精製・乾燥・包装などの製造工程もご覧いただけます。

ツアー概要

午前 (9:00 ~ 13:00)
①平井テックセンター見学 (国立区(平日録音))
株式会社ニッピで製造している食品原料(ゼラチン、ラエニン)や化粧品、その製法方法に関する講義と見学、コラーゲン化粧品の製造体験。
午後 (13:30 ~ 17:00)
②バイオマトリックス研究所見学 (密着撮影許可)
ゼラチンコラーゲンの抽出に関する講義を実施いたします。
※年齢と年齢は、片方のみの参加が可能です。
※年齢別参加費および一日参加のみの場合は、最良がります。
※詳細な内容は、各社にご確認ください。

対象者 産学連携プロジェクトに携わる教職員・研究者・学生・大学生 (各15名)
※実務経験・大学と連携する方が対象です。
※応募者が多い場合は、抽選となります。

応募方法 9/14(木) 15時必着で、各申込先まで、下記情報をメールにてご連絡ください。
①氏名 ②所属 ③職位や学年 ④参加理由(簡単に) ⑤参加希望のコース(A:一日参加コース B:午前半日参加コース C:午後半日参加コース)

申込先 【東京医科歯科大学の方】 DDユニット事業推進課 Email: ddunit.ddug@md.ac.jp Tel: 03-5803-4172
【順天堂大学の方】 男女共同参画推進課 Email: sankaiue@juntendo.ac.jp Tel: 03-5802-1009

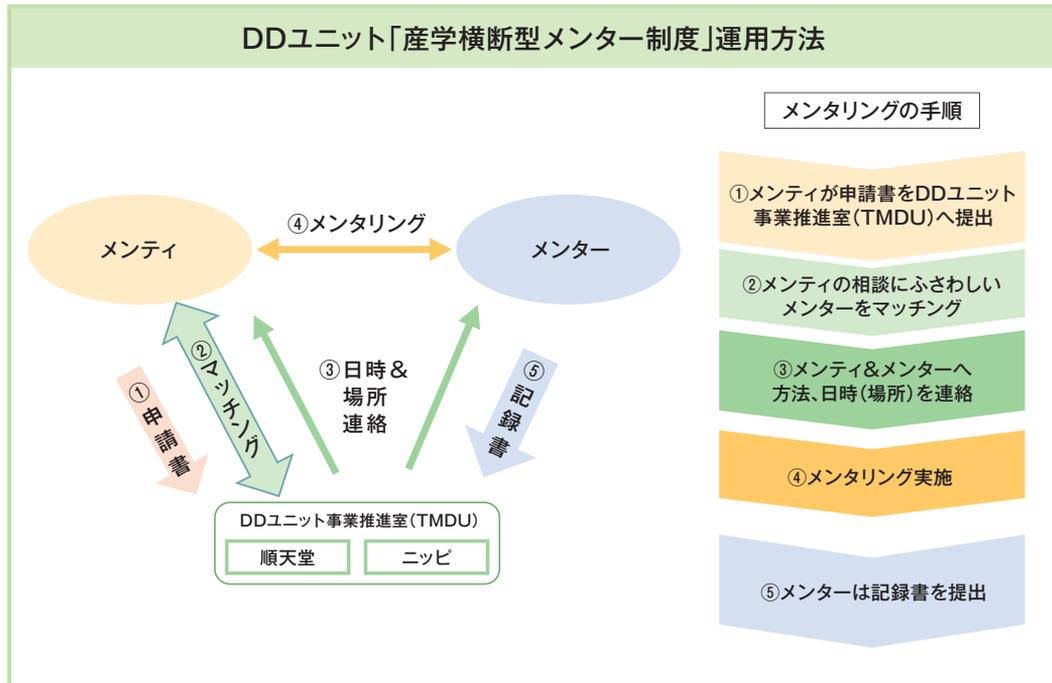
内容：●医療原料製造現場見学と講習●化粧品製造体験●バイオマトリックス研究所の概要説明●細胞外マトリックス研究体験●研究所見学

参加者の声：●もっと基礎知識を身につけて、また参加できればと思います。皮革、食品、化粧品、医療分野とコラーゲンが多岐にわたり活用されていることがよくわかりました。●これまで「？」だったゼラチンとコラーゲンの違いが明確にわかりました。また、ニッピのコラーゲンを冷蔵保存しなくてはならない理由もよくわかり、勉強になりました。●私も理系にしてあげれば良かったかも、と思うくらい楽しく勉強になりました。コラーゲンについても詳しくなりました。

産学横断型メンター制度

女性研究者が直面する産学連携研究に関する悩みや問題に対して、様々な視点からメンター（相談相手）によるアドバイス等を行う制度です。平成29年8月から「産学

横断型メンター制度」として正式にスタートしました。メンターは3機関合わせて20名です。



DDユニットWebサイト

新しいコンテンツ「産学横断型メンター制度」を掲載しました。

<http://www.tmd.ac.jp/cmn/ddu/counsel/index.html>

また、ロールモデルインタビューのコーナーに3名の女性研究者の記事を掲載しました。

<http://www.tmd.ac.jp/cmn/ddu/index.html>



第7回 順天堂大学女性研究者研究活動支援シンポジウム

平成29年11月18日、東京医科歯科大学・株式会社ニッピとの共催で第7回順天堂大学女性研究者研究活動支援シンポジウム「イノベーションによる未来の働き方の創生～医科学領域における女性の更なる活躍に向けて～」を開催しました。

会場 順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス
センチュリータワー南12階1201教室

内容

基調講演

「女性活躍支援政策の光と影」

南 砂氏（読売新聞東京本社 常務取締役 調査研究本部長）

特別講演

「シリコンバレーよりAIの最新動向について」

小菅 真一氏（北米三菱商事）

若手研究者からの研究発表

「ICTによる技術革新が画像診断にもたらすもの」

隈丸 加奈子氏（順天堂大学 准教授）

「情報技術を用いた疫学研究の可能性」

野田 愛氏（順天堂大学 特任准教授）

基調講演では、戦後の日本の男女共同参画の政策を振り返りながらその歩みと現状を確認し、その上で女性活躍支援はどのような方向に向かって進むべきかをお話いただきました。

特別講演では、AIや遠隔医療等の技術が、働く上での課題をいかに解決し得るかという視点で、シリコンバレーを中心とする米国発のヘルスケア関連のスタートアップや企業におけるAI技術の採用状況についてお話いただきました。

若手研究者からは、遠隔診療によって多様な働き方が実現し、女性医師のキャリア継続にプラスの影響が出ている事例や、日本の疫学研究におけるAIを用いた検討例をお示しいただきながら、AI等の情報技術を用いた研究の発展に期待を込めて、これまでの成果と課題をそれぞれご紹介いただきました。



学内外から多くの方のご参加を得て、男女共同参画や最新技術を用いた今後の働き方に、多数の有益なご意見・ご感想をいただきました。

●基調講演の感想

- ・ 経験のある方から声を聞け、知見を広げることができ、素直に話を聞き入れられたと思う。
- ・ 女性に「もっとがんばれ」と言われるのかと思っていたら、子育てを大切に思われる視点のお話で心が救われた。ゆとりある子育てを社会全体で作っていかないといけない。
- ・ 女性の活躍は労働力としてではなく、新たな価値創造への貢献とのお話が印象に残った。

●特別講演の感想

- ・ 予想以上にAI技術が進んでいてびっくりしている。“人”ができることも考えなければいけない。
- ・ AIと医療のリンクについて、最先端の事例を学ぶ良い機会となった。
- ・ 今後の爆発的発展が楽しみ。1年後、また聴きたい。

●若手研究者発表の感想

- ・ 研究者の方の生の声を聞くことができ有意義と思った。
- ・ 遠隔読影で子育てしながら常勤で働けることを知り、他でも導入できれば良いと思った。
- ・ AIの活用例について理解できた。AIが女性（だけではないが）の負担軽減になれば良いと思うとの意見に賛成。

編
集
発
行

DDユニット事業推進室

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 東京医科歯科大学 5号館3F(学生・女性支援センター内)

TEL : 03-5803-4172 FAX : 03-5803-0412 E-mail: ddunit.ddu@tmd.ac.jp

Webサイトをご覧ください: <http://www.tmd.ac.jp/cmn/ddu/>

ご意見・ご要望をお寄せください。